

上越教育大学 (新潟県)



留学生一人ひとりのニーズを尊重しながら、日本語及び日本文化に関し、体験を通して理解を深める。

■大学および上越市の紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特徴と歴史

上越教育大学は、1978年10月に創設された大学です。

初等中等教育教員に高度な学習と研究・研鑽の機会を提供することを趣旨とする大学院修士課程と初等中等教員を養成する学部を持ちます。本学の理念は学校教育に関する理論的・実践的な研究と教育実践の推進にあるため、理論的専門科目はもとより、各教科の実践的な実習科目に至るまで開講されています。

また、2008年（平成20年）4月1日の教職大学院制度発足に合わせ、大学院学校教育研究科に、専門職学位課程（教職大学院）を設置しました。教職に関する精深な学識を身につけ、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を有する教育者を育成することを目的としています。

2) 教員・学生数等（2017年5月現在）

教員数：147人

学生数：

学部学生：675人

大学院学生：627人



〔雪国・上越市〕

② 国際交流の実績（2017年10月現在）

・外国人留学生在籍数：42名（4か国）

・交流協定校：11校（7か国）

ハルビン師範大学、北京師範大学、内蒙古民族大学（中国）
韓国教員大学校（韓国）、
国立嘉義大学、国立清華大学（台湾）、
アイオワ大学（アメリカ合衆国）、
チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学（トルコ）、
テキサス大学サンアントニオ校（アメリカ合衆国）、
カレル大学（チェコ）、ウェストミンスター・スクール（オーストラリア）

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研究生）の受入れ実績（各年度10月現在）

2016年：留学生数42人、日本語・日本文化研修留学生1人

2015年：留学生数34人、日本語・日本文化研修留学生2人

2014年：留学生数33人、日本語・日本文化研修留学生2人

④ 上越市の特色

上越市は、歴史的文化財が豊富であるとともに自然環境にも恵まれ、雪国を代表する都市として有名です。

東京からは、北陸新幹線を用いて約2時間で来ることができます。

■コースの概要

① 研修の目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

② コースの特色

・留学生一人ひとりのニーズを尊重しながら、日本語及び日本文化に関し、体験を通して理解を深める。
・留学生の興味・関心を考慮して、受入教員や関係教員の協力を得てカリキュラムを編成する。



正面から見た上越教育大学



③ 受入定員

3名（大使館推薦2名、大学推薦1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語・日本文化研修留学生となることを希望する者は、以下の条件を満たす者とします。

- a) 資格：来日時点で外国（日本以外）の大学の日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在籍する者。ただし、1年生は対象外とする。
- b) 日本語能力：日本語能力試験N2又はJ-TEST実用日本語検定準B級に相当する日本語力を有する者。
- c) 日本語による授業を理解し、日本語の参考文献を読み、日本語でレポートを書き、口頭発表を行う能力のある者。

⑤ 達成目標

受入教員と日本語教員の指導のもとで研究を進め、一年間の研究成果を発表し、修了レポートを提出する。

⑥ 研修期間

2018年10月1日 ～ 2019年9月30日

修了式は9月を予定

⑦ 研修科目の概要

- ・特別聴講学生として、以下の科目を一般学生とともに受講し、単位を取得することができます。
- ・入学後、以下の科目以外に希望する科目があれば、追加して受講することができます。
- ・受講科目については、受入教員と相談のうえ決定します。



世界を語ろう
オーストラリアと
クリスマス

1) 必須科目

前期・後期各期15週開講する。すべて日本語での授業である。

学校教育学部開設科目：

日本語・日本文化研究セミナーA/B、日本語・日本事情
I / II、国際交流セミナー

日本語補講科目：

日本語レポート作成A/B、日本語研究発表A/B、日本語文献
講読A/B

2) 見学、地域交流等の参加型科目

日本語・日本文化研究セミナー

受入教員と日本語教員の指導のもとに、各自で日本に関する
研究課題を設定し、修了レポートを作成、発表する。

学校参観

本学の附属小学校・中学校を始めとして学校参観を実施する。

3) その他の講義、選択科目等

前期・後期各期15週開講する。すべて日本語での授業である。

学校教育学部開設科目

日本事情：日本国憲法／日本史研究／法律学文献講読

日本文化：書の表現と文化／書写書道 I／書写書道 II

国際理解：異文化理解教育

日本の文学：国文学講読B／国文学演習B

日本の地理・歴史：日本史研究A／世界史研究入門

日本の教育：国語学講読C／子どもの教育・保育概論

教科別開設科目

学校運営等：教育学研究法／初等・中等特別活動論／学校教育
育相談



地域との交流
伝統芸能
「春駒」

⑧ 年間行事（予定）

- 10月 10月入学留学生オリエンテーション
大学祭参加
- 11月 学長と入学留学生との懇談会
世界を語ろう
J-TEST実用日本語検定受験
交通安全教室
- 12月 留学生との意見交換会
- 2月 短期外国人留学生の附属学校授業参観
- 3月 国際交流のつどい
留学生スキーツのつどい
- 4月 4月入学留学生オリエンテーション
留学生の花見
- 5月 学長と入学留学生との懇談会
- 7月 七夕茶会
- 8月 日本文化・歴史体験及び地域交流に関
する研修
短期外国人留学生成果発表会
- 9月 短期外国人留学生修了証書授与式



留学生
の花見

⑨ 指導体制

- 担当教員 … 受入教員が、留学生一人ひとりに、研究指導・履修指導を行います。
- 日本語指導 … 本学教員及び外部講師による日本語指導により、言語能力から生じる不安を取り除きます。
- 担当事務 … 研究連携課国際交流チームの職員が、日本での生活全般の相談に応じます。1名が個別に日常生活から専門領域の研修に関しサポートを行います。

⑩ コースの修了要件

以下の修了要件を満たした者には、修了証書を授与します。

- 1) 学部開講科目の中から半期12科目（日本語補講3科目含む）以上受講し、単位を取得すること
- 2) 受入教員と日本語教員の指導のもとで進めた一年間の研究成果を発表し、修了レポートを提出すること

短期留学生 成果発表会



■宿 舎

キャンパス内の緑に囲まれた一面に、留学生及び外国人研究者と日本人学生との混住方式による国際学生宿舎があります。

留学生用は単身用居室15室、夫婦用居室3室となっています。

設備

単身用（5,900円／月）

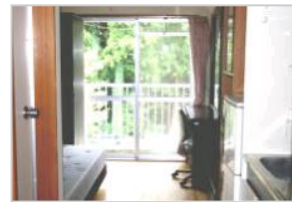
ミニキッチン、トイレ、給湯設備、冷暖房用空調設備、シングルベッド、片袖机、回転椅子、書棚、洋服ダンス、吊り書棚、食器棚、冷蔵庫、電気スタンド

夫婦用（9,500円／月）

キッチン、ユニットバス、トイレ、給湯設備、冷暖房用空調設備、シングルベッド2、片袖机、回転椅子、書棚、応接テーブル、応接イス、食卓テーブル、食卓イス、食器棚、整理ダンス、玄関収納庫、洗濯機、乾燥機、冷蔵庫、電気スタンド、クローク



〔国際学生宿舎 外観〕



〔国際学生宿舎 室内〕

■修了生へのフォローアップ

○修了生へ、本学が毎月配信している「国際交流ひろば」や「留学生ネットワーク」とおして情報提供を配信している。

雪国 スキー体験



■問合せ先

<担当部署>

上越教育大学 研究連携課 国際交流チーム

住所：〒943-8512

新潟県上越市山屋敷町1番地

TEL：+81-25-521-3299

FAX：+81-25-521-3621

E-mail：ryugaku@juen.ac.jp

<ウェブサイト>

上越教育大学ホームページ

<http://www.juen.ac.jp/>

日研生コースガイド

<http://www.juen.ac.jp/050about/030internat/040recep/index.html>